



Index

インフルエンザ予防対策

アンケートご協力お礼

季節のムシ暦 (37)

FCCブログ

株式会社FCC



〒251-0043

神奈川県藤沢市辻堂元町4-3-32

Tel 0466-31-3164

Fax 0466-31-3174

URL <http://www.fccsystem.co.jp>

E-mail info@fccsystem.co.jp

アンケートにご協力頂き ありがとうございました！

2010年10月1日～30日にアンケート調査を実施致しました。
ご協力頂き、ありがとうございます。
(78件回答)

今回実施させて頂きましたアンケートの結果は、社内で厳粛に受け止め、お客様がご不満に思われている点は改善し、ご満足頂いている点は更にご満足して頂ける様、邁進して参ります。

アンケートの実施結果は以下の通りとなります。

①お伺いした施工員は気持ちの良い挨拶が出来ていましたか？

大変良く出来ている 65件 (84%)
出来ている 12件 (15%)
普通 1件 (1%)
出来ていない、不快だった 0件

②お伺いした施工員の服装・身だしなみはいかがでしたか？また気になる点がございましたらお答え下さい。

a.服装・身だしなみ
大変整っている 51件 (65%)
整っている 18件 (23%)
普通 9件 (12%)
乱れている、見るに堪えない 0件
b.気になる点
服が汚れている 2件

③弊社の施工はいかがですか？また宜しければその理由・ご意見等をご記入下さい。

大変満足 60件 (74%)
普通 17件 (26%)
不満 0件

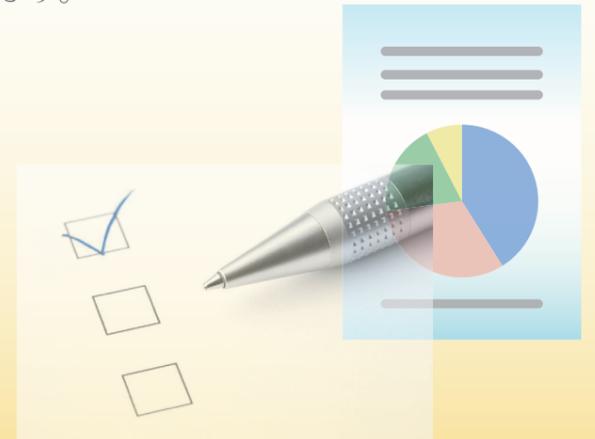
また、紙面ではお伝えしきれませんが、様々なご意見を頂戴致しました。

皆様から頂戴致しました貴重なご意見は、今後、システムの充実やFCCニュースなどに随時反映させて頂きます。

この度は、アンケート調査にご協力頂き、誠にありがとうございました。ご意見・ご感想は随時受け付けておりますので、お気軽にご連絡下さいませ。

この度はアンケートにご協力下さり、誠にありがとうございました。

次のアンケート調査は2011年1月を予定しておりますので、その際は恐れ入りますが是非ともご協力下さいますよう、お願い申し上げます。



インフルエンザ予防対策

気温と湿度が低くなる今の時期、ニュースなどでインフルエンザの予防接種について取り上げられる機会が多くなりました。

日本では季節性インフルエンザは11月下旬から12月上旬頃に最初の発生、12月下旬から3月までにピークを迎えます。

インフルエンザウィルスは、**温度が20度前後、湿度が20%前後の環境下**が最も生存に適しており、長時間空気中に漂う事が出来ます。

従って冬の気象条件はインフルエンザウィルスにとって非常に都合が良い為、冬の時期にインフルエンザが流行するのです。

インフルエンザは、患者の粘液が他人の目や鼻、口等から直接入る経路、患者の咳やくしゃみ等により発生した飛沫を吸い込む経路、ウィルスが付着した物や、握手等の直接的な接触により、手を通じて口からウィルスが侵入する経路の3つのルートで伝播します。

インフルエンザウィルスは非常に感染力が強く、たった1個の飛沫だけでも感染し、インフルエンザを発症する恐れがあります。

中でも高齢者や呼吸器や心臓等に慢性の病気を持っている方は、インフルエンザウィルスによって元々の病気が悪化しやすく、**死に至る原因**となる事もあるのです。

主な症状は風邪の症状と似た部分もありますが、通常の風邪に比べて**強い悪寒や倦怠感、高熱が3~4日間続く**だけでなく、**気管支炎やインフルエンザ肺炎**を始めとした様々な合併症を引き起こす**可能性が高い**のが特徴です。

また、本来ウィルスや雑菌の侵入を防いでくれる**粘膜**が気温の低下や暖房の使用によって起きる**空気**の乾燥に伴って、**固まってしまう**と、雑菌やウィルスを防ぐ働きが悪くなり、体内に侵入しやすくなってしまいます。

また、**気温と湿度が低くなると、インフルエンザウィルスは活発化し、インフルエンザを発症する可能性がより高くなります。**

インフルエンザウィルスに感染しない為には、**空気中を漂うウィルスや、手等に付着したウィルスを体内に侵入しない様に未然に防ぐ事が重要なポイント**になります。

まず湿度の管理については加湿器を使用し低くなりがちな湿度を50~60%に上げましょう。

次に帰宅した際に、**直ぐに手洗いとうがい**をする事。うがいには**喉に入り込んだ雑菌を洗い流す効果**は勿論、うがいをした際に**喉が刺激され喉頭腺から分泌液が出て粘膜を保護**してくれる二次効果もあります。



また、手洗いを帰宅時に行う事で、手に付着している**ウィルス等を落とし、口や鼻から直接ウィルスが侵入する事を防ぐ**事が出来ます。

そして**こまめに水分補給**をする事。こまめに水分を摂る事で、**喉に適度な潤いを与え喉に付着したウィルスを洗い流して**くれます。

特に柑橘類等を始めとした**ビタミンCが豊富に含まれている果物のジュース**は適度に糖分もあり、より効果的に**喉の粘膜を保護**してくれます。

これから冬にかけてますます空気は乾燥しインフルエンザウィルスは活発化してきます。

インフルエンザの予防対策の一環として、是非とも今回ご紹介した**喉や鼻の粘膜を保護**する方法等を取り入れてみて下さい。



【今、なぜネズミなのか】

先頃まで、猛暑に音(ネ)をあげていたが、早くも冬が迫ってきた。こんな時期、野外の小動物が、人の住居内に入ってくる。
 こんな代表的な小動物が、「ネズミ」なのだ。人は、この小動物を可愛いと云う組と患者とする組が、相い半ばする。
 また、人とネズミが関わる話は、神話の時代に遡り、大國主命(オオクニヌシノミコト)にたどりつく。

さて、ネズミと虫の関係だが、ネズミの身体には、ノミやダニが寄生していて、いうなれば、虫の「倉庫」という存在なのである。

実は、この「虫」が、ペスト、発疹熱、恙虫病、流行性出血熱と云う病気を人に伝播する。

このように、ネズミは、虫と深い関係にあるのだ。病気をもたらす虫退治には、このネズミをよく知り、ネズミ退治が欠かせないのだ。

では、問題のネズミだが、この種類は、実に1800種が知られ、動物学的に齧歯目(ゲツシモク)に属し、7科220属にわたる集団である。

一般に知られているネズミ事情は、ネズミをネズミ亜科とハタネズミ亜科の二つに大別され、前者にはクマネズミ、ドブネズミ、ハツカネズミ、アカネズミが、後者にはハタネズミ、ヤチネズミがあることだ。

ときには、前者を「家ネ」、後者を「野ネ」と呼称することがある。いずれにしても、人のまわりに居るネズミは、大家族であって無視することの出来ない存在なのである。

このネズミ(Rattus)属を宿主とするダニがよく知られているのは、イエダニ(Oritotrypanosomum)である。

問題のダニは、ネズミが増えると必然的に増えるが、その生活サイクルを要約すると次の通りである。

卵期間	1~2日
幼虫期間	1日
第一若虫	1日(1回吸血)
第二若虫	1~2日(吸血せず)
成虫の寿命	60日前後
卵から成虫所要日数	11~16日
成虫の体長	0.75~1.0ミリ
オスが	0.63ミリと小型である。
脱皮した成虫は	1~2日前後に交尾し、2から3日間にわたり産卵するが、一メスの産卵数は100個前後である。



【写真説明】問題虫をタップリとかかえたアカネズミ

ネズミを宿主とするもうひとつのダニは、恙虫(ツツガムシ)で、これはツツガムシがムシ病をもたらし。
 この恙虫病は、古来、北日本地方の風土病として知られていたが、戦後になって富士山麓で、新しい型の恙虫病が全国的にみられるようになった。これを新型ツツガムシ病と称し、しばらく流行をみた。
 日本に産するツツガムシは、100種を越すが、病原体を保有する主要なものは、アカツツガムシ、フトゲツツガムシなどである。
 これらの主要な宿主は、ハタネズミ、アカネズミ、ヒメネズミ、ドブネズミなどである。
 これらのネズミのリケツチア保有率は、おおよそ20%前後である。
 森林や山畑でよく捕るアカネズミのダニの種類は13種に及んだ。捕獲した1匹のアカネズミから159種のダニが捕れたが、ツツガムシ病に関わるものが4種もとれた。
 このように、「ネズミ」は、問題虫の倉庫なのだ。冬場に、野外から侵入するネズミ達には御用心を！

FCCブログ — FCCの代表、深澤正司の『湘南ではたらく小さな会社の社長blog』より

気配り

当社の宴会とかにご参加下さるとご理解いただけたと思いますが、当社の社員は若手を中心にすごく動きます。

気配りをします。手前味噌ですみませんが、きっと感心なされると思います。

でも、当社の社員も始めは誰も出来ませんでした。まず自分だけです。社内教育しないと、み～んな自己中です。自分だけ。他人はどうでもいいのが、最近の社会の実態です。

でもしっかり伝えるとDNAが甦ります。『目配り、気配り、心配り』いつも言っています。魅力のない奴って、人に関心のない奴です。人に思いやりのない奴です。自分さえ良ければいい奴です。

社内の宴会なんかでは、うちは若い順によく動きます。上の奴らがそれを教えなければいけません。でも上の奴らはそれで踏ん返り返っていい訳ではありません。ここではやらなくていいだけです。

世の中どこに行っても「目配り気配り心配り」です。私も偉そうにしているのは、会社内だけです。偉そうにしている会社内でもいつも社員の様子を見ています。

自分が心から出来ないことは人にやらせてはいけません。だってそれはエゴになるから。リーダーは自分が分かっている、部下に気配りをさせることが大切。

まったく忘れて踏ん返り返らない様に、リーダー会なんかで時々私とリーダーで飲んだりします。ちょっとやらしいけど、私への気配りや年上への気配りを強要させます。

会社の宴会が当たり前若い奴らがやることでリーダー達が勘違いしないように、外へ出ても踏ん返り返るな、と教えているつもりです。

世間では社長も役職も地位も名誉も関係ないです。人間としての偉さはみんな平等です。常に謙虚に頭を垂れる稲穂です。目配り気配り心配りです。

パソコンからFCCブログをチェック！

FCCニュースに掲載しているブログの記事以外にもFCCホームページには多くのブログがあり、業務の事や日常の出来事など様々なエントリーが投稿されています。

気になった方は

FCC ゴキブリ駆除

トップページから全てのブログにアクセスする事が出来ます。

FCCブログ — FCCサービスマンの『点検・アフターサービス日記』より

やっぱり勉強

生き物の相手にしている事もあってマニュアルがあっけないような業界です。

もちろん弊社には、積み上げて来た実績に基づきマニュアルが存在します。

しかし、マニュアルは最低限出来なければならぬ事です。弊社では、常に新しい技術、革新した技術を更新しマニュアルに落とし込んでいます。

これをやらなければ害虫0は達成出来ません。

当たり前ですよ。

日々、勉強し現場で実践する事で直ぐに《業》を発見出来るのです。

弊社がアルバイトを使わないのも、この理由です。この仕事は誰にでも出来る仕事ではありません。訓練された人だからこそ、ようやく現場に立てます。

不信が多いこの業界。

私どもは必ず害虫を0に出来ます。

自身を持ってそう言えます。